



前後町長から賀寿を受ける渡部さん(左)

渡部一二さんが 100 歳に

長寿を祝い、賀寿などを贈呈

6月17日に満100歳の誕生日を迎えた渡部^{いちじ}さん(白津)への賀寿贈呈式は6月18日、ケアテル猪苗代で行われました。はじめに、県会津保健福祉事務所の本多邦之健康福祉部長が知事賀寿と会津塗の木杯を贈呈。続いて前後公町長が賀寿と記念品などを手渡しました。渡部さんは新聞を毎日読み、シルバーカーを利用して歩行することができます。渡部さんは「これからも長生きできるように頑張ります」と話しました。

ゴール目指して力走

町民健康マラソン大会

町民健康マラソン大会は6月24日、町運動公園で開かれ、394人の参加者が健脚を競いました。レースは男女別、年齢別などの25部門で争われ、参加した選手たちが爽やかな汗を流しました。快晴の空の下、ゴール目指して力走する選手の姿に、応援に駆け付けた家族らからは大きな声援が飛んでいました。

また、会場では町食生活改善推進員の皆さんによる豚汁の振る舞いが行われました。



小学5年男女の部で勢いよくスタートする選手

多彩なイベントを楽しむ

「GO OUT CAMP 猪苗代 vol. 5」開催

キャンプイベント「GO OUT CAMP 猪苗代 vol. 5」は6月1から3日まで、天神浜オートキャンプ場で開かれ、県内外から多くのアウトドア愛好家が訪れました。

会場内では渡辺俊美さんや谷本賢一郎さんらによる音楽ライブが繰り広げられたほか、カヌー体験や自然観察会、レストランキハチ元総料理長の鈴木真雄シェフによるアウトドア料理教室などが行われ、参加者は猪苗代湖畔でのキャンプを満喫しました。



カヌー体験を行う参加者

緑化や林業振興の功績をたたえ

全国植樹祭で福島県森林の功労者表彰

6月10日に南相馬市で開かれた第69回全国植樹祭ふくしま2018において、「福島県森林の功労者」表彰を受賞した町振興公社の阿部吉作理事長と高梨彰さん(川桁)は6月25日、町役場を訪れ、前後町長に受賞を報告しました。町振興公社は緑化の推進や森林づくり意識向上に貢献のあった団体などに贈られる「森林とふれあう部門」で、高梨さんは林業の振興や普及への功績をたたえる「森林の恵みを活かす部門」でそれぞれ受賞しました。



前後町長に受賞を報告する阿部理事長(左)と高梨さん(右)



好投を見せる猪苗代中の遠藤皓介投手(6月5日)



タイムリーヒットを放つ東中の土屋成選手(6月5日)

猪苗代中 10 年ぶり県大会へ

中学校体育大会総合大会軟式野球競技

北会津管内中学校体育大会総合大会は6月5日、猪苗代、磐梯の両町で開かれました。このうち、軟式野球競技は楽天イーグルス猪苗代球場で行われ、猪苗代中と東中の2チームで争われました。試合は両チームともに投手を中心とした堅い守りを見せ、接戦のまま終盤へ。1対1で迎えた最終回、7回裏の猪苗代中の攻撃。ツーアウト満塁の場面で山本学歩^{まなぶ}選手がレフト前にサヨナラ安打を放ち、猪苗代中が全会津大会への出場を決めました。

軟式野球競技の全会津大会は6月12、13の両日、会津若松市のあいづ球場などで行われました。猪苗代中は全会津大会の初戦、若松第四中と対戦し、3対0の完封勝利で勢いに乗ります。続く準々決勝では喜多方第二中を3対2で破り、準決勝に駒を進めます。準決勝では下郷中と対戦。緊迫した投手戦の末、猪苗代中が1対0で下郷中を下し、見事決勝に進出します。決勝戦では今大会打撃好調の田島中と争い、0対2で惜しくも破れたものの、準優勝。第2代表として10年ぶりの県大会進出を決めました。県大会は7月22日から24日まで、南相馬市などで開かれます。

マウンテンバイク耐久レース

第6回ジンドュランス in 猪苗代

マウンテンバイクの3時間耐久レース「第6回ジンドュランス in 猪苗代」は6月3日、磐梯南ヶ丘牧場で開かれ、県内外から約140人が参加しました。

レースは、男女別のソロや3人までのチーム、ファミリーなど6クラスで行われ、1周3キロの周回コースを3時間の制限時間内に周回した回数とタイムで争われました。参加者は、自己ベストを目指して熱い戦いを繰り広げました。



熱い戦いを繰り広げる参加者

消防団功績者に表彰伝達

第70回県消防協会猪苗代支部幹部大会

第70回県消防協会猪苗代支部幹部大会は6月17日、学びいなで行われ、猪苗代、磐梯両町の消防団幹部ら約150人が参加しました。町消防団長の五十嵐幸夫支部長が「関係機関と連携を図り、予防消防に努めなければなりません」と式辞。県消防表彰などを受けた団員に表彰状を伝達し、受章者を代表して渡部孝広第5分団長が謝辞を述べました。また、第2分団の鈴木剛班長らが体験談を発表しました。



表彰伝達を受ける渡部分団長(右)



前後町長に受章を報告する五十嵐さん(右)

長年の功績をたたえ

五十嵐幸夫さんが藍綬褒章を受章

春の褒章で藍綬褒章を受章した五十嵐幸夫さん(川桁)は5月31日、町役場を訪れ、前後公町長に受章を報告しました。五十嵐さんは昭和61年に町消防団に入団。第5分団長や副団長などを歴任し、現在は団長として団員の先頭に立ち、地域の防火・防災活動などに尽力されています。五十嵐さんは「受章は皆さんのおかげです。消防団を取り巻く環境の変化に対応し、時代のニーズに合った消防団活動に取り組んでいきたいです」と話しました。

首都圏からの誘客拡大を図る

「林家たい平と行くラジオバスツアー」

猪苗代、磐梯、北塩原の3町村でつくる磐梯山周辺観光推進連絡協議会は5月25日から27日まで、首都圏などからの観光誘客を目的とした東京駅発着のバスツアー「林家たい平と行くラジオバスツアー」を実施しました。ツアーには約80人が参加し、野口英世記念館など磐梯山周辺の観光スポットを巡りました。野口英世記念館で参加者を出迎えた林家たい平さんは「猪苗代町の美しい新緑やおいしいそばを堪能してください」と話しました。



ツアー参加者と記念撮影する林家さん(左から2人目)

スポーツで健康増進図る

町高齢者スポーツ大会

スポーツを通じて健康増進と参加者間の交流を図る町高齢者スポーツ大会は6月20日、カメリーナで開かれ、町内6地区から約150人が参加しました。

参加者は、ラグビーボールを棒で転がして進む「ブタ追い競争」や男女ペアで手をつなぎながらアイスクリームに見立てた風船を落とさないようにゴールを目指す「アイスクリームデート」など8種目で争い、爽やかな汗を流しました。



「ブタ追い競争」でラグビーボールを転がす参加者

「花いっぱい」美しい町づくり

「花いっぱい運動」でイメージアップ

町では毎年、町内の観光施設や公共施設の緑化とイメージアップを図るため「花いっぱい運動」を実施しています。花の苗の配布は6月8日に行われ、メランポジュームやマリーゴールド、サルビアなど6種類の花の苗約1万本を町内の観光関係団体や公共施設などに配布しました。

町商工会女性部では同日、配布された花の苗を女性部メンバーの事業所などに届け、おもてなしの心で町を花で飾りました。



「花いっぱい運動」に取り組む商工会女性部メンバーら



景色を楽しみながら歩く参加者



スタート前に記念撮影する参加者ら。今年は約360人が参加した

歩いて町の魅力発見

猪苗代ノルディックウォーキング大会

猪苗代の豊かな自然を歩き、健康づくりを行うイベント「第8回猪苗代ノルディックウォーキング大会」は6月17日、天神浜や道の駅猪苗代を歩くコースで開かれました。

このイベントは、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故の影響による風評被害を払しょくしようと、猪苗代青年会議所が毎年開催しています。今年は3、12、17㌔の3コースが設けられ、県内外から昨年を上回る約360人が参加しました。

開会式はホテルリステル猪苗代で行われ、猪苗代青年会議所の渡部一登理事長が「雄大な磐梯山と猪苗代湖を一望できるコースを歩いて、健康増進を図るとともに猪苗代の魅力を発見してください」とあいさつを述べました。

参加者は入念に準備運動をした後、ボランティアスタッフから注意事項や案内を聞いてスタート。見頃を迎えた猪苗代ハーブ園のポピーや町内の新緑を眺めながら思い思いのペースで歩き、ノルディックウォーキングを楽しみました。

家族で楽しく体験

いなわしろフェスティバル春

「第2回いなわしろフェスティバル春」は6月17日、国立磐梯青少年交流の家で開かれました。イベントには、町内外の約20団体が出展。猪苗代警察署のパトカー体験や猪苗代消防署の煙体験、猪苗代湖の自然を守る会のヒシの実クラフトやボーイスカウト猪苗代第一団の森のスライダーなどの体験コーナーが設けられました。会場には多くの家族連れなどが訪れ、さまざまな体験を楽しみました。



ボーイスカウト猪苗代第一団による森のスライダー体験

青年海外協力隊としてザンビアへ

孔晋一郎さんが前後町長に抱負誓う

7月から2年間にわたって、青年海外協力隊としてアフリカのザンビア共和国に派遣される^{この}孔晋一郎さん(川桁出身)は6月18日、町役場を訪れ、前後公町長に活動の抱負を誓いました。孔さんはザンビアのムババラ地域ヘルスセンターに配属され、主に保健衛生の向上に関する活動に携わります。孔さんは「活動を通じてさまざまなことを経験し、帰国後には国際協力の分野で社会に貢献できる人材になりたいです」と話しました。



前後町長に抱負を話す孔さん(右)